

完成検査のチェックポイント

業務の内容と管理の視点

工事監理

- 施工計画書の確認
(材料承諾願・安全計画・停電計画・工程計画・産業廃棄物
処理計画書・仮設計画書(搬出入計画・足場等計画))
- 施工体制台帳・工事看板・安全書類の確認
- 全停電や主要機器切替工事には、当日の施工確認の指示を行う
- 工程の進捗状況に応じて、隠蔽部分や建築・機械との取り合い
等を確認し監督員に指導する。
- 足場(ローリングタワー)解体前に中間検査を行い、施工の
確認を行う。
- 部分引渡しがある場合には、使用前検査を行い合格した場合は
施設側に仮引渡しを行う。

監督員検査・消防検査

- 監督員はまず社内検査結果を確認する。（完成図書・施工）
- 消防検査が必要な工事は消防検査に立会い現場の機能確認を行う。

完成検査

(依頼局・所管局・技術管理課・電気係・請負人) 立会い

①必要書類確認事項

- 施工体制台帳、完成図書、消防届出書類、安全書類の確認。
- 機器完成図の仕様を確認し数量も確認する。

②現場検査確認

- 設計書どおりの品質が得られた施工になっているか。
- 機能面で満足できるものとなっているか。
- 利用者の安全は十分に確保出来ているか。
- 施工マニュアル等仕様どおり施工されているか。
- 今回工事で、既設部分への不具合等はないか。
- 建築・機械工事との取り合い、納まりに問題はないか。

手直し事項の確認

（請負人・公社で共有し施設・依頼局に説明）

- 手直しの内容と、手直し方法を具体的に提示し監督員が指示書に記載する。
- 手直し完了日を請負人と確認し、施設管理者側と調整を行う。

完成検査書類の確認

完成検査では、引継ぎ図書（完成図書）の確認を行います。

完成図書は「完成図書作成マニュアル」に基づき作成して下さい。

また、消防届出書類が有る場合には別冊で副本を綴込んで下さい。

施工体制台帳・安全書類の確認を行います。

完成図書作成マニュアル(改定版)

1. 完成図書はA4ファイルにまとめ、原則として**学校施設は1部、庁舎関係施設は2部作成**する。
2. ファイルの厚みは書類の厚みを考慮し選定する。
3. ファイルの材質は耐水性のある厚紙を使用し色はグレイ系とする。
4. 消防届出書類の副本(原本)は別冊A4ファイル(ピンク色)に綴じ込む。

庁舎関係施設については、施設側の要望等により増冊する場合もある為、監督員へ部数の確認を行なう事。

平成〇〇年度
完成図書
発注者
公益財団法人
横浜市建築保全公社
発注者
〇〇〇電気株式会社

工事発注年度とする。
(工事完成年度ではない)

1施設2部作成する場合のみ、
「正」・「副」の表示を行なう。

正

平成〇〇年度

完成図書

工事名 〇〇学校〇〇〇改修工事
 住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番〇号

インデックスを付ける。
(大・小項目)

複数施設の場合については下記による。

1.代表施設 工事名 〇〇学校ほか〇校〇〇〇改修工事 (注:契約上の工事名)
住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番〇号 (注:契約上の住所)

2.他の施設 工事名 〇〇学校ほか〇校〇〇〇改修工事 (注:契約上の工事名)
 (▲▲▲学校)
住所 ▲▲▲学校の住所

*部数は上記による。
*消防届出書類においても同様のタイトルとする。

発注者 公益財団法人 横浜市建築保全公社

請負人 〇〇〇電気株式会社

代表者 〇〇 〇〇

住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番地

電話 045-123-4567

1
2
3
ア
イ
ウ
4
ア
イ
ウ
X
x
x

● (公財) 横浜市建築保全公社(電気係)独自の完成図書作成マニュアル(参考)です。

透明シール等で保護して下さい

消防届出書類の表紙の書き方 (参考)

(消防届出が必要な場合のみファイルを作成する)

(A4 ファイル ピンク色)

平成〇〇年度
消防届出書類

工事名 〇〇学校〇〇〇改修工事
住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番〇号

発注者 公益財団法人 横浜市建築保全公社

請負人 〇〇〇電気株式会社

代表者 〇〇 〇〇

住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番地

電話 045-123-4567

横浜市建築保全公社
〒〇〇〇〇〇〇
〇〇区〇〇町〇番地
電話 〇〇-〇〇-〇〇〇〇

**下記を参考に作成する事。
(下記以外に必要なものについては追加作成する)**

1. 目次

2. 故障連絡先

3. 諸官庁提出書類

- ・ 消防用設備等着工届出書・消防用設備等設置届出書（着工届・設置届はコピーとし、図面は不要）
- ・ 消防用設備等検査結果通知書または消防用設備等検査済証（コピー）

（注：上記書類は「副本」を別冊ファイルに綴じる）

- ・ 建設廃棄物処理委託契約書（表紙のみコピー）
 - ・ 産業廃棄物管理票(A～E票)・収集運搬業許可証・処分業許可証・処理経路図(公社Hrp)
- （注：完成図書はコピーとし、原本は完成検査時に準備する）***産業廃棄物処理(計画・報告)との確認を要す。**

オ. 東京電力自家用電気使用申込書(原本)・事前協議票

カ. その他工事に応じて必要な諸官庁提出書類

4. 試験成績表

- ・ 絶縁抵抗測定表 低圧及び高圧（改修前後）
 - ・ 接地抵抗測定表
 - ・ 耐電圧試験成績表（高圧ケーブル・変圧器・高圧機器等）
- （**耐圧試験範囲を表示した単線結線図**を綴込み、高圧ケーブル工事技能認定証は持参）
- ・ SOG制御装置動作試験表
 - ・ PCB絶縁油分析結果報告書
 - ・ 照明器具試験成績表
 - ・ 自火報試験成績表（**警報回路・防火シャッター・消火栓始動等**必要に応じて綴じ込む）
 - ・ 非常放送動作試験成績表
 - ・ 分電盤・制御盤試験成績表
 - ・ テレビ共同視聴電界強度試験表
 - ・ 空調機器試験成績表
 - ・ その他工事に応じて必要な試験成績表(現場試験・機器(メーカー等))

（注：JISにより指定された機材で、JISマーク表示のある機材を使用した場合は、試験成績書の提出を省略することができる）

5. 機器完成図

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| ア. 照明器具 | キ. 監視カメラ設備機器 |
| イ. 防火設備機器(受信機・感知器等) | ク. 受変電設備機器(PAS・変圧器・LBS・高圧機器等) |
| ウ. 拡声設備(非常放送含む) | ケ. ハンドホルル蓋（破壊試験表） |
| エ. 分電盤・制御盤・開閉器盤等 | コ. 換気扇・空調機器等 |
| オ. テレビ・インターホン設備機器 | サ. 静止形電源設備機器(直流電源装置・UPS等) |
| カ. 構内交換装置(交換機・電話機) | シ. <u>その他工事に応じて必要な機器完成図</u> |

（注：承諾図を修正したものとし、該当する使用機器(仕様)にマーキングをする）

6. 取扱説明書（注：完成検査前までに施設側への取扱説明を完了しておく事）

7. 完成図面

注：完成図面は現況に即したものとする。（監督員の了解を得た完成図）

注：図面下部に 完成図 を入れる。

平成〇〇年〇月

（図面左下の図面枠内の年月日の修正は行わないで下さい）

8. 工事写真

- ・ 工事用黒板の記入内容が確認できる写真は、説明書きを省略してもよい。
- ・ 「正」、「副」2部作成する場合は「正」のみとする。
- ・ 枚数が多い場合は「別冊」としてもよい。

故障連絡先

請 負 人

会社名 ○○○電気株式会社
住 所 横浜市○○区○○町○番地
電 話 045-123-4567
担 当 者 ○ ○ ○ ○

(土・日曜日・祝日の連絡先)

氏 名 ○ ○ ○ ○ 090-1234-5678

* 土・日・祝日稼動している施設のみ

協 力 会 社 (自動火災報知設備)

会社名 ○○○防災株式会社
住 所 横浜市○○区○○町○番地
電 話 045-123-6789
担 当 者 ○ ○ ○ ○

協 力 会 社 ()

会社名
住 所
電 話
担 当 者

(注) * 協力会社の()内は、工事内容に応じて職種を記入する事。

(注) * 主要な職種を記入する事。

(例: 自動火災報知設備・非常放送設備・キュービクル改修・空調設備等)

よくある指摘事項

- 試験成績表の今回工事該当か所のマーキング
- 機器完成図の今回工事該当か所のマーキング
- 書類等の日付漏れ・押印漏れ
- 産業廃棄物許可書の有効期限切れ
- マニユフェスト照合確認日記入漏れ
- 産廃経路図の管球リサイクル・ニカド電池の処理方法が違う
- 社内検査チェックリストの提出が無い
- 完成図面「参考」の消し忘れ
- 完成図面機器メーカー名・型番の記入漏れ

- 高所作業・隠蔽部分、配線等の接続箇所の写真が少ない。
- 工事写真の光量不足・ピンボケ写真
- 塗料缶F☆☆☆☆の写真がない。
- 絶縁測定等計測時、素手にて計測写真

完成検査現場の確認

- 設計書どおりの品質が得られた施工になっているか
- 機能面で満足出来ているものとなっているか
- 利用者の安全は十分に確保出来ているか
- 施工マニュアル等仕様どおりの施工はされているか
- 今回工事で、既設部分への不具合等はないか
- 建築・機械工事との取り合い、納まりは問題ないか
- 社内検査及び監督員検査の指摘事項は是正されているか

現場確認事項（参考）

高圧関係

- P A SまたはUGS、変圧器等高圧機器の取付状態
- 装柱金物（自在バンド等）取付状態やボルト等の締付状態
- ケーブル、電線管の布設状況
- ハンドホール内のケーブル布設状況（巻きだめ等）
- ハンドホールの状況（蓋両面塗装・パッキン・鎖）清掃状態
- キュービクル内ケーブルの立上り部及び線名札
- K I Pの布設状況
- 高圧充電部用アクリル保護板の取付状況
- 照明器具、配線器具の取付、動作確認

現場確認事項（参考）

照明関係

- 高所照明器具、配管の取付状況（足場等解体前に確認）
- 点灯試験（回路毎に確認）
- 各所配線の布設、接続状況
- 新設盤取付状況、既存分電盤配線状況、線名札等確認
- 撤去箇所等の補修
- 照明器具、配線器具の取付状況、動作確認

現場確認事項（参考）

弱電関係

- 機器の取付状況の確認
- 各所配線、配管の布設状況
- 各所配線の接続状況
- 防火区画箇所での施工状況
- 壁、天井、床の補修状況
- 各種動作試験
（感知器・シャッター・警報・スピーカー・アッテネーター・
カトリリレー・ベルカット・音声鳴動機能・電話等通話試験
音響調整卓等動作試験



モルタル根巻き



A種接地
接地試験用端子
黒色自己粘着テープ巻

管口ネオシール

ねじ無しコネクター使用

ラジース緩み確認

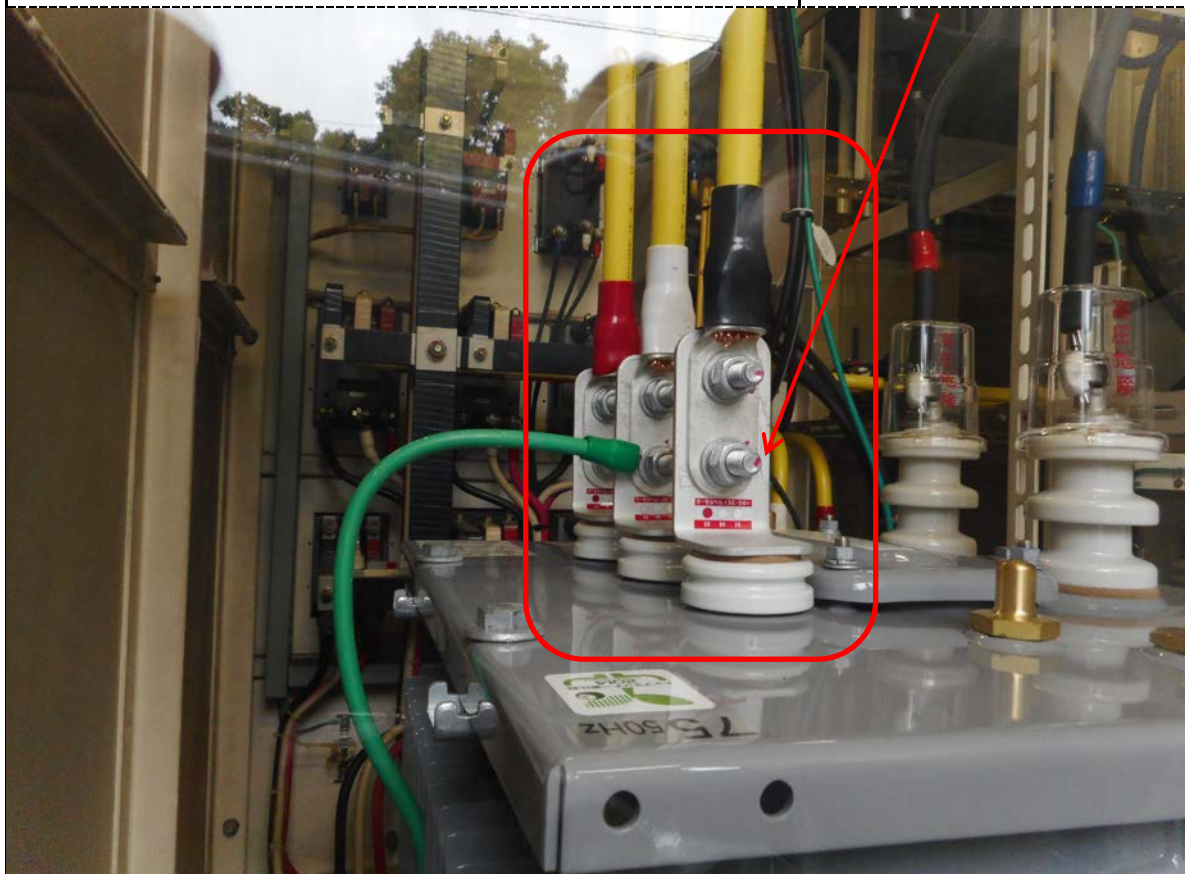


ねじ部錆止め塗装



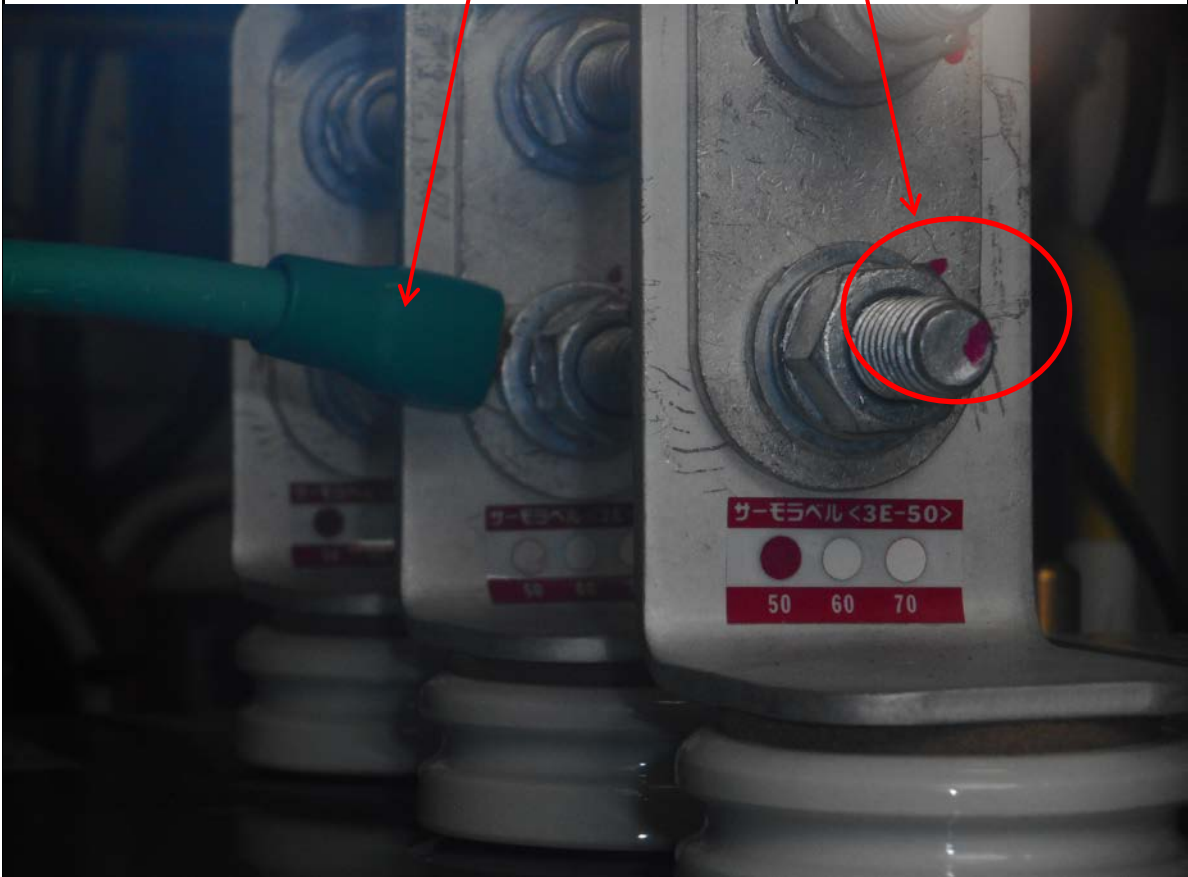
デマンドデジタル計

トランス1相75KVA交換

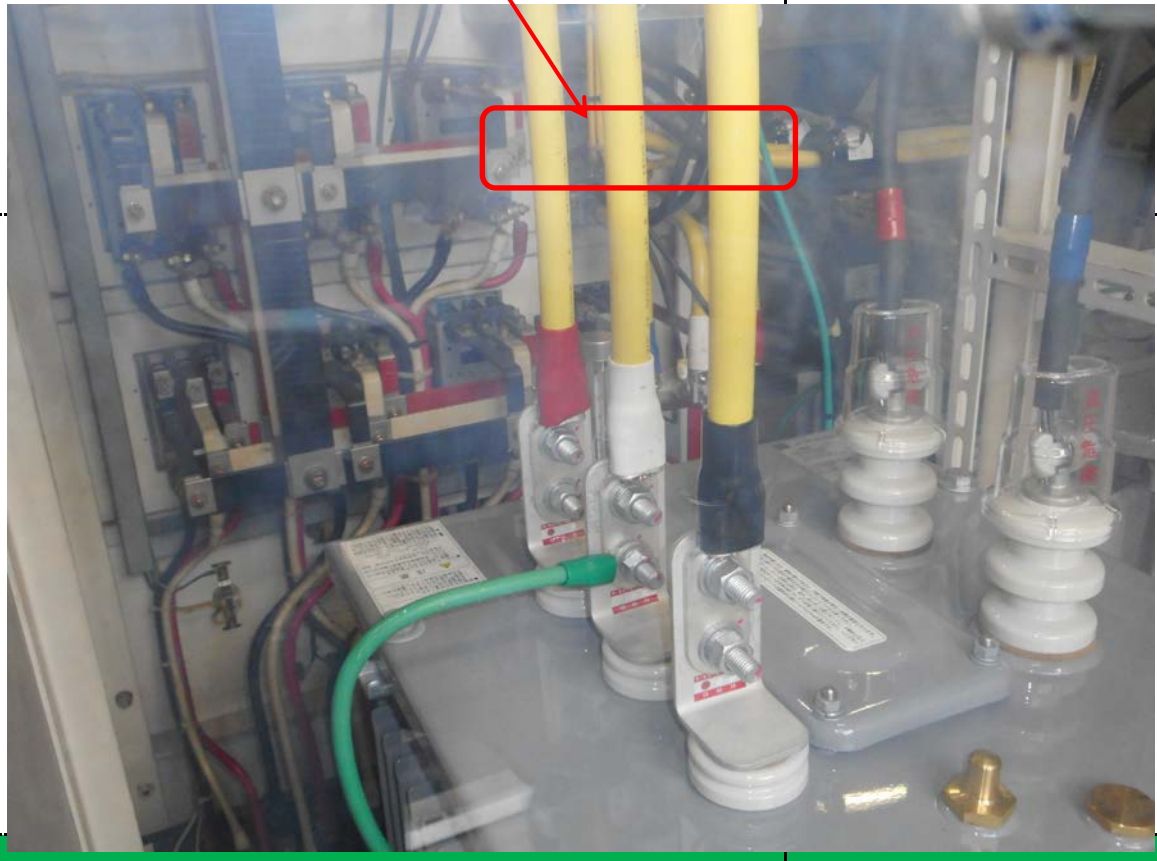


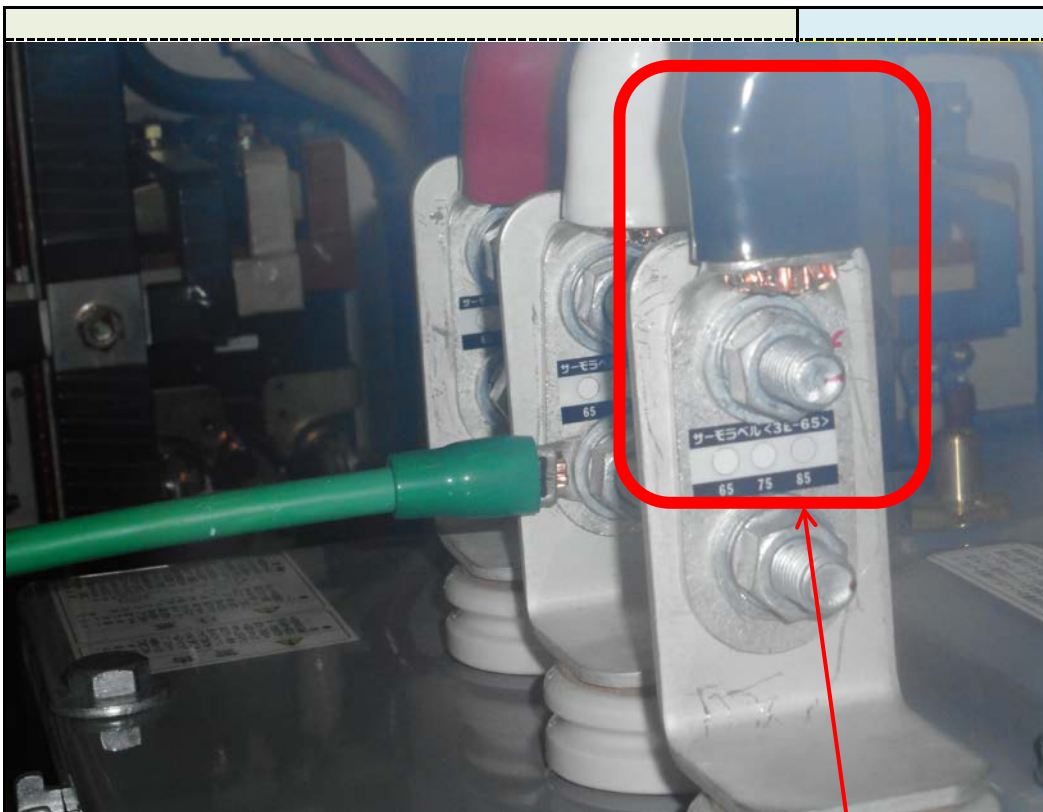
2種接地(中性線)

マーキング



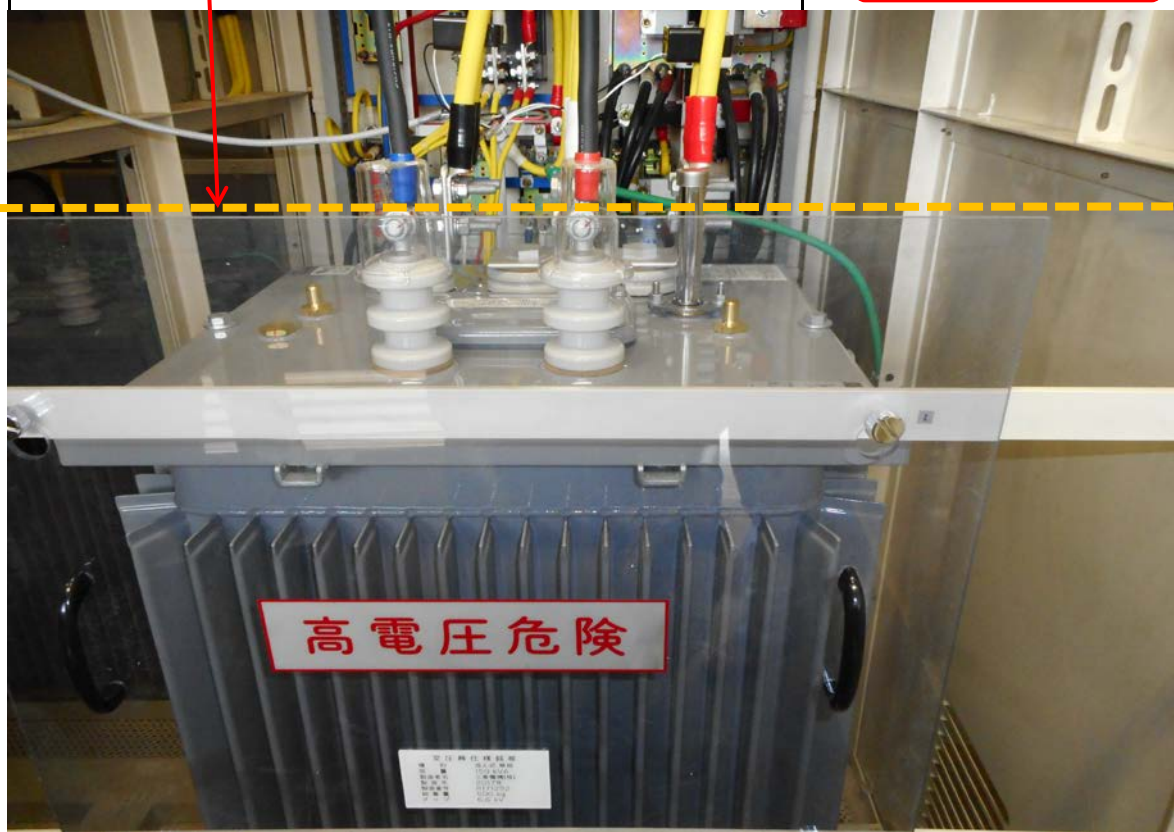
電線交換 > 150mm²

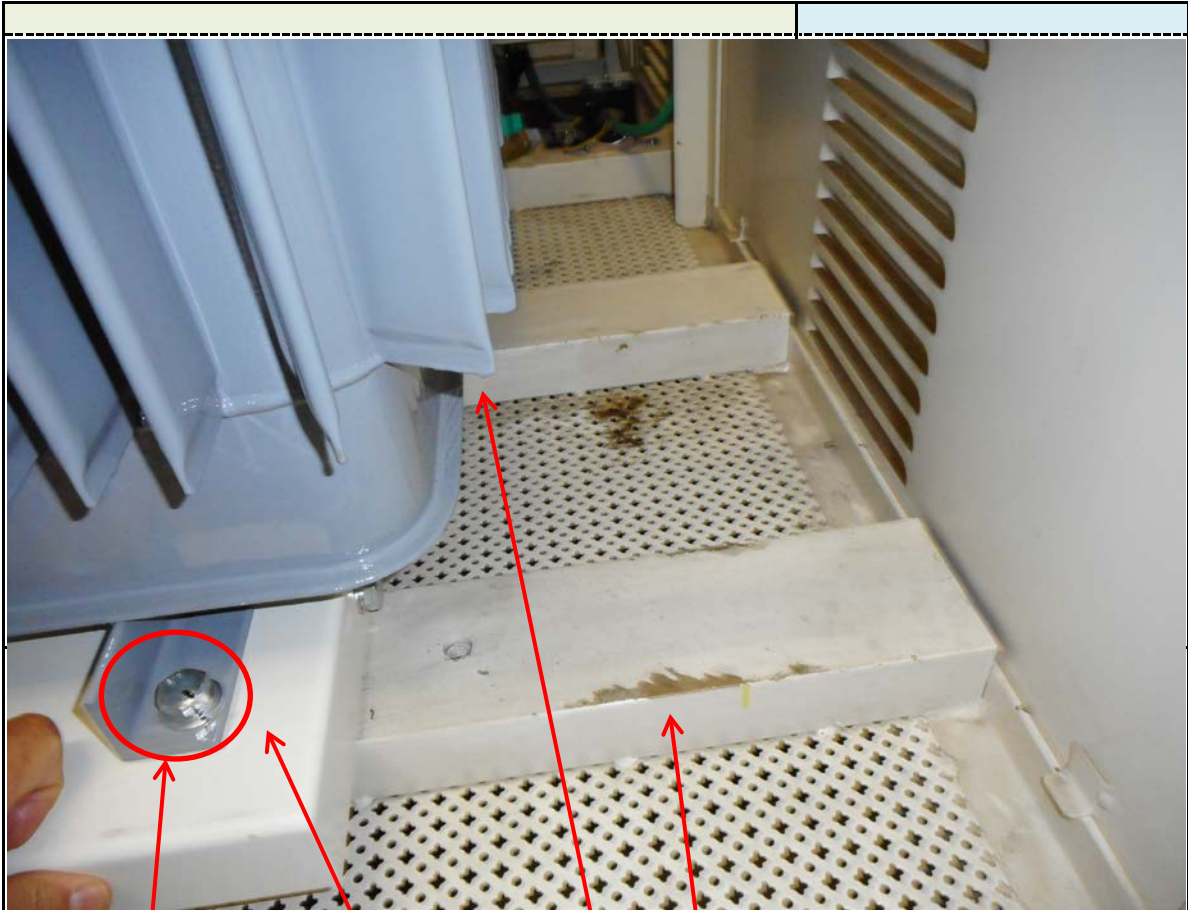




アクリルカバー 上部ライン>>>ちょっと低いかな？

電線の処理が粗い

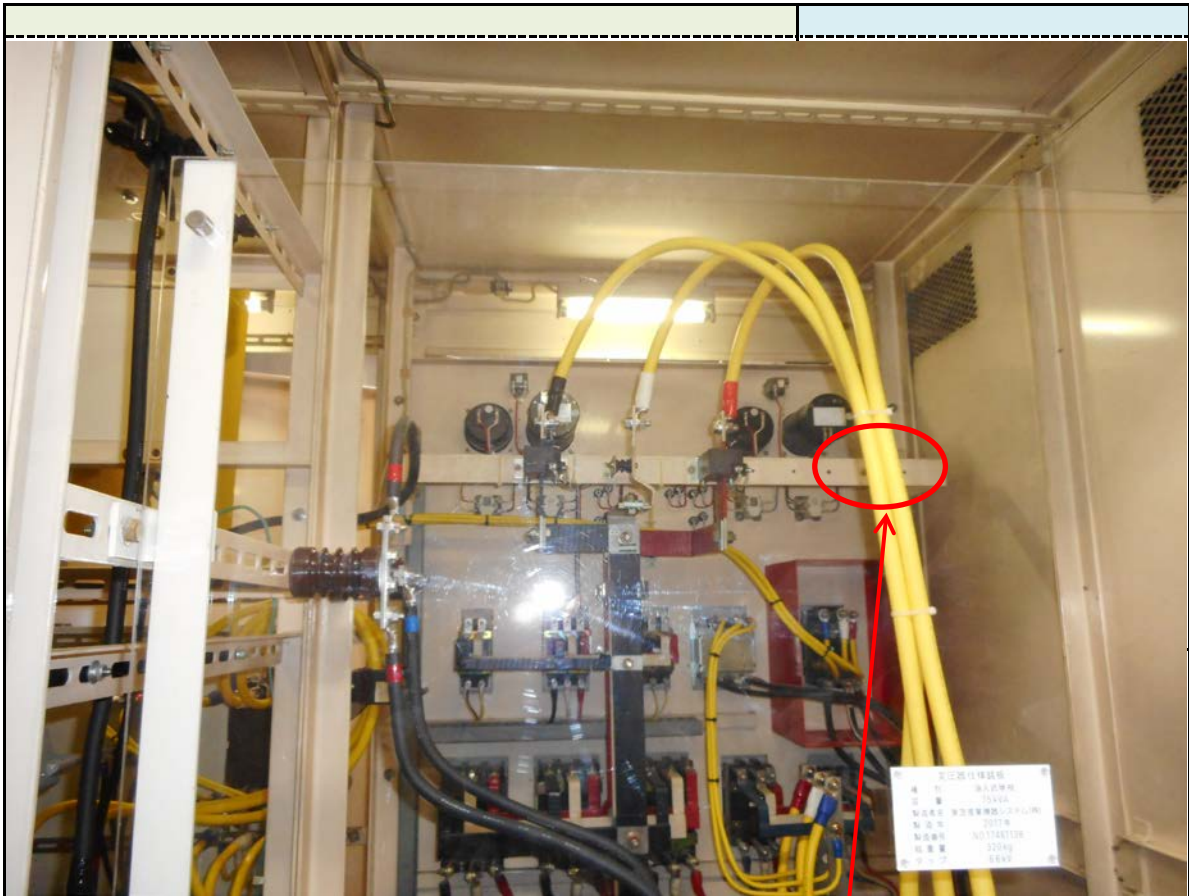




トランスの固定

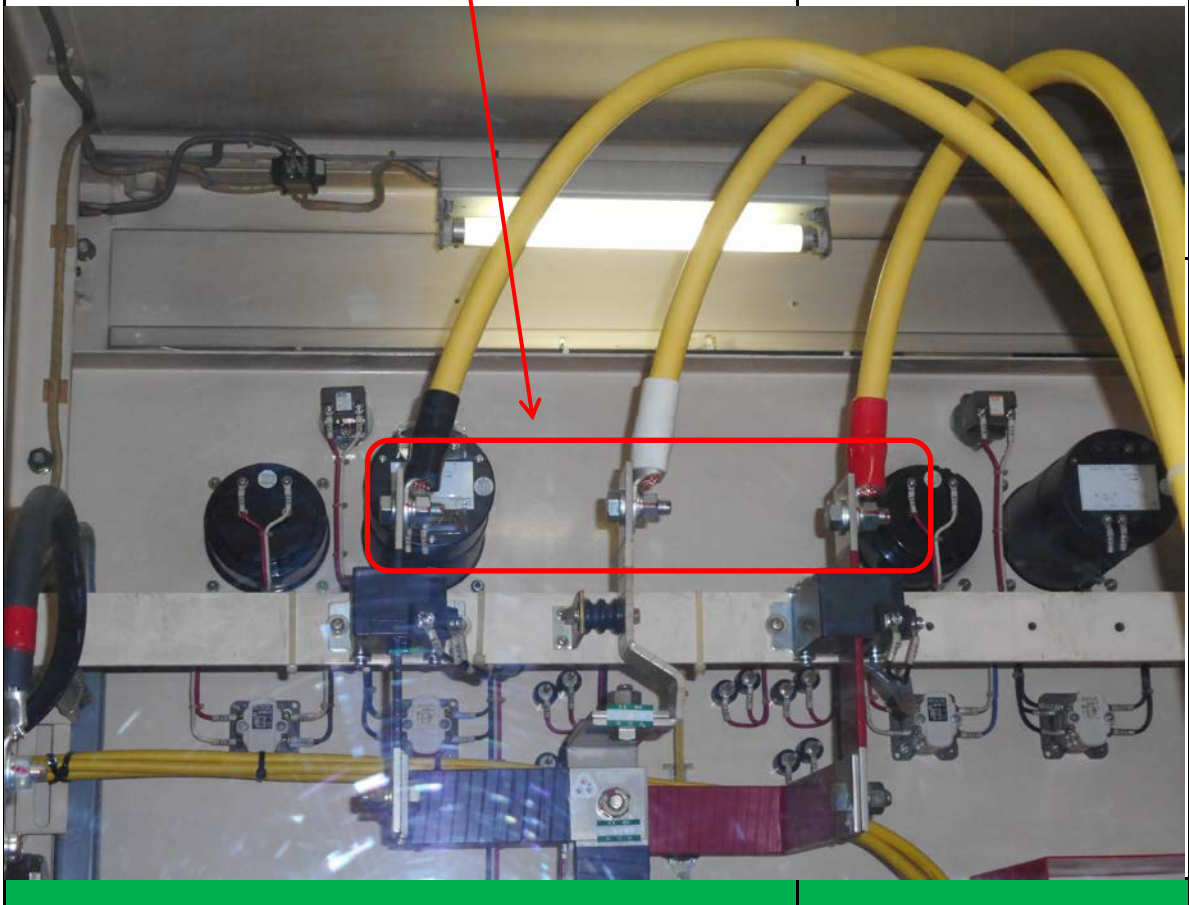
ベース架台

キュービクル既設架台



ブスバーにかかる力は大丈夫か？

ここで固定すべきであった





LED高天井用照明器具

LSR1AM-17000LM

(公共型番)

調光可能型

拡散パネル付 下面ガード

ガード

LED内蔵

電源ユニット内蔵

LED(昼白色)

電圧>100V~242V

色>アルミダイキャスト>クールホワイト

光源寿命>60,000時間

落下防止ワイヤー付

重量>9,15Kg

メーカー製作架台



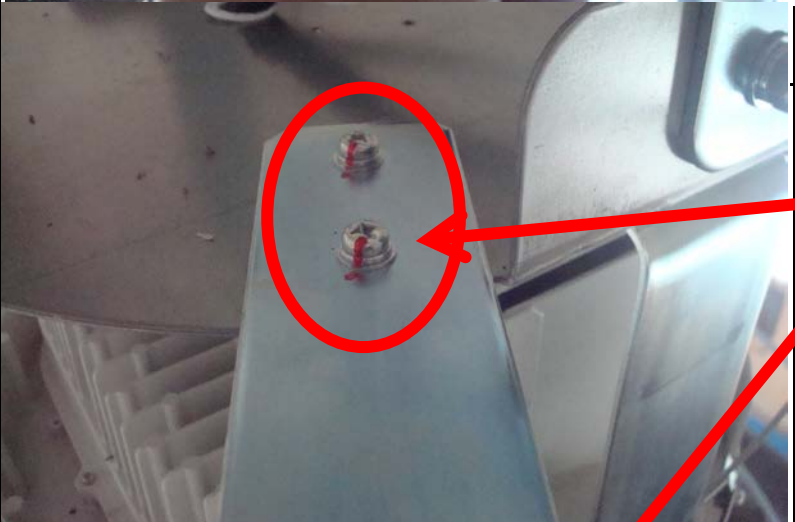
マーキング

落下防止ワイヤー>付属品

緩み止め剤塗布>済>良

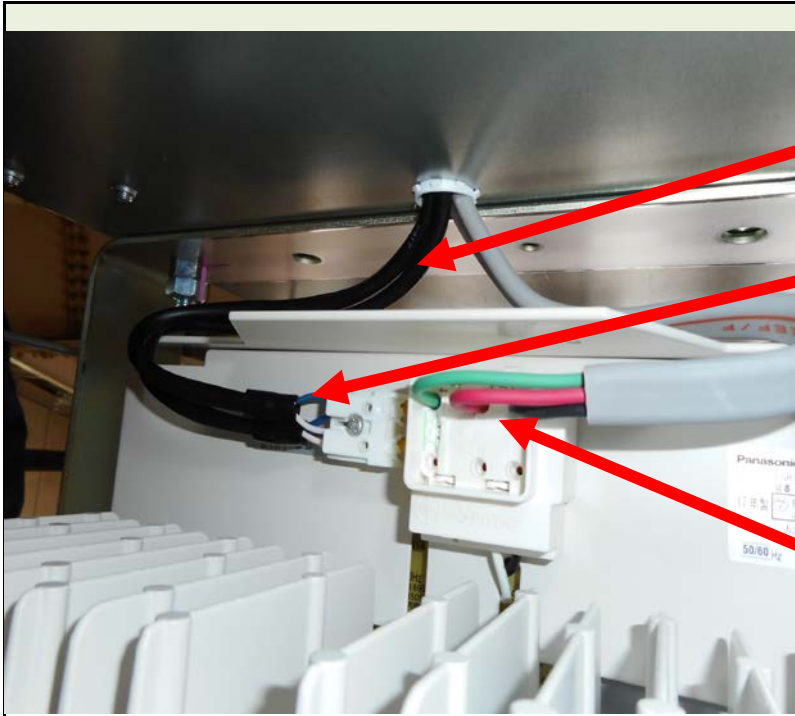


リングナット>ゆるみ止め剤塗布



マーキングと緩み防止剤塗布

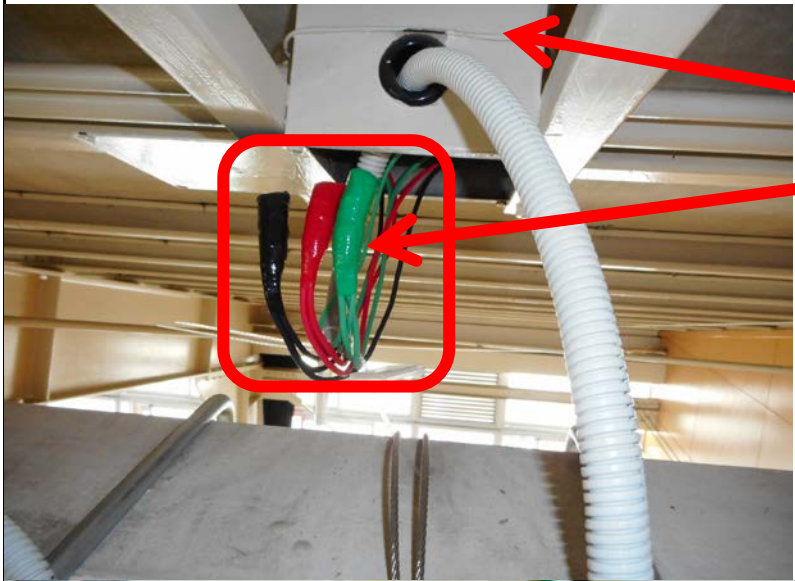




スパイラルで保護(黒色)
EM-EEFにスパイラル巻いている
場合もある

制御線接続部 > 2芯
青・白

電源接続部 > 3芯
200V使用の為EM-EEFは
赤・黒・緑を使用
黒・白・緑の場合もある



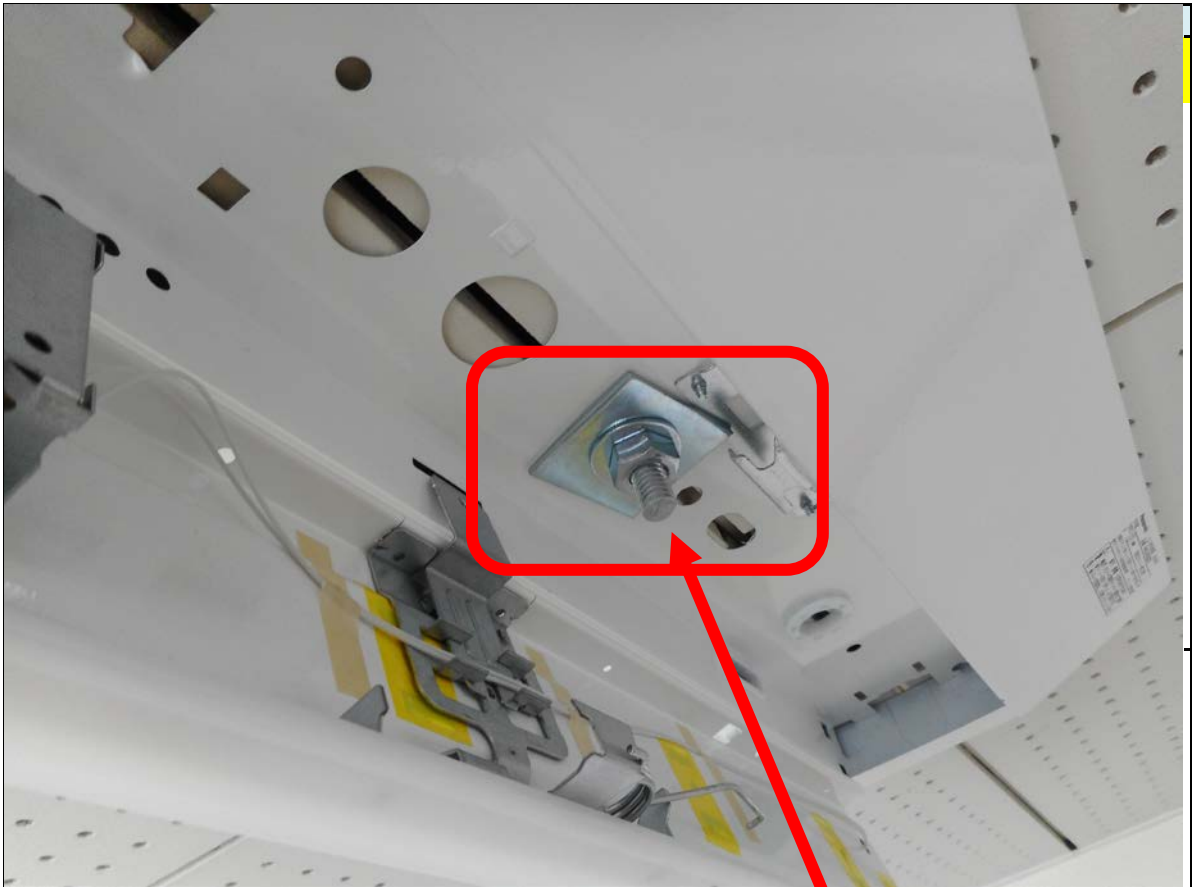
既設プルボックス

色分けテープ

連結器具の配線送り > チューブ使用
> 工夫している > 良



既設盤内接地端子
改修工事においてこの様な取り方
は改善してもらいたい。
新規に接地端子を設けて電線の
処理をする。



黒板灯は舟部分が狭いために
接続後のケーブル処理が難しいので
このような状態になる。
無理をしないでプッシング
をやめチューブ等で処理
したほうが賢明>>チューブ有り

- ・角ワッシャ>穴隠し
- ・丸ワッシャ
- ・ナット
- ・ボルト先端確認>バリ、さび塗装





連結器具はブッシングを付けると隙間が開くため
この施工がベスト
天井渡りの方法もあるが露出器具の場合の施工は
この方がよい。

連結器具の配線送り>チューブ使用
>工夫している>良 |